

『まるごと 日本のことばと文化 初級1A2』 -学生用及び教師用サポート資料作成の試み-

ペトロフスカ ナターリア
ウクライナ日本センター

1. はじめに

ウクライナ日本センター（以下、ウクライナセンター）の日本語コースでは2012年の春に初めて『まるごと 日本のことばと文化』（以下、『まるごと』）を使ったパイロットコースを実施し、2012年の秋からは定期講座でも使い始めた。受講生は大学生と一般成人で、1クラスの人数は20人前後である。パイロットコースでは、教師は日本語母語話者二人、定期講座になってからは、最初は母語話者一人、非母語話者一人が担当した。これらの教師は、国際交流基金日本語交際センターが実施したJF講座担当教師対象の研修（以下、JF講座研修）に参加した。そして、2013年からは、同研修に未参加の現地講師も『まるごと』を使ったコースを教え始めた。

基本情報

レベル	A2
実施コース名	初級1
実施日時または期間	2013年10月～2014年6月
授業時間	90分@1コマ、2回×32週=62回
授業担当講師	報告者、報告者以外の教師1人
1クラスの学習者数	20人（×4クラス）
学習者の属性	性別：男性36人 女性44人 年齢：10代25人、20代42人、30代9人、40代2人、50代2人 職業：高校生4人、大学生35人、会社員41人
使用教材	『まるごと 初級1』 「かつどう」編、「りかい」編

ウクライナセンターでは『まるごと 入門』が導入される前、初級クラスでは『みんなの日本語』が使われていた。ウクライナ人講師が『みんなの日本語』の教え方に関わり慣れていたこと、ウクライナの学習者は「文法中心」の外国語学習を好む人が多いことから、新しいスタイルの教材である『まるごと』に変わると、授業では様々な問題が現われた。このような状況の中、ウクライナセンターでは『まるごと』を使ったコースをウクライナの学習者と教師によりわかりやすく、適切に提示するため、学習者用と教師用の資料をいくつか作った。

このレポートでは学習者が使う「ウクライナ語訳付き語彙リスト」と「文法解説書」、そして教師のための「教授マニュアル」を紹介したい。これらの資料を作る背景と目的、一つ一つの資料の構成や特徴、作る際の注意点をはっきりさせ、使用上の利点と問題点を分析し、これからの課題として考えられる点をあげて、より効果的な資料の使い方を検討したい。

2. 学習者用の資料

2.1 ウクライナ語訳付き語彙リスト

『まるごと』のパイロットコースを始めたとき、教師は二人ともウクライナ語がわからない日本人であった。教師が学習者と共通言語がなく、不安があったため、課ごとの基本的な表現とキーワードとなることばのウクライナ語訳が必要だと判断した。『まるごと 入門』は語彙はあまり多くなく、「語彙帳」（試用版についていたが、『まるごと』市販後は<http://marugotonihongo.jp/library/>で提供）もあるため、それだけで十分だったが、レベルが上がると、語彙の数も多くなってくるので、授業の妨げにならないように全部の語彙にウクライナ語訳をつけたほうがいいという意見が出た。ウクライナセンターでは教科書を貸し出し形式にしているので、学生が教科書に書き込むことができないため、新しいことばが出てきたら、みんな自分のノートにそのことばと訳を書く。そのため授業を休んだら、どんなことばが教科書に出たのか、分からなくなる。その上、コース終了時には、教科書を返さなければならないので、記録として何も残らないことになる。

以上のことに加えて、自習や復習にも対応できるように、課ごとの語彙リストを作った。そして、漢字に興味がある学生が多くいるので、「語彙リスト」の中に「漢字」の欄も作った。「語彙リスト」の形は以下の通りである。

Урок 12		
あいます	合います	пасувати
あじ	味	смак
あまい	甘い	солодкий

『まるごと』方式の教え方を乱さないため、「語彙リスト」は「かつどう」編の授業が終わったあと、学習者に配る。そうすることによって、「りかい」編に入る前に、復習もでき、授業を休んだ学習者も無理なく次の授業に参加できるという利点も生まれる。

2.2 文法解説書¹

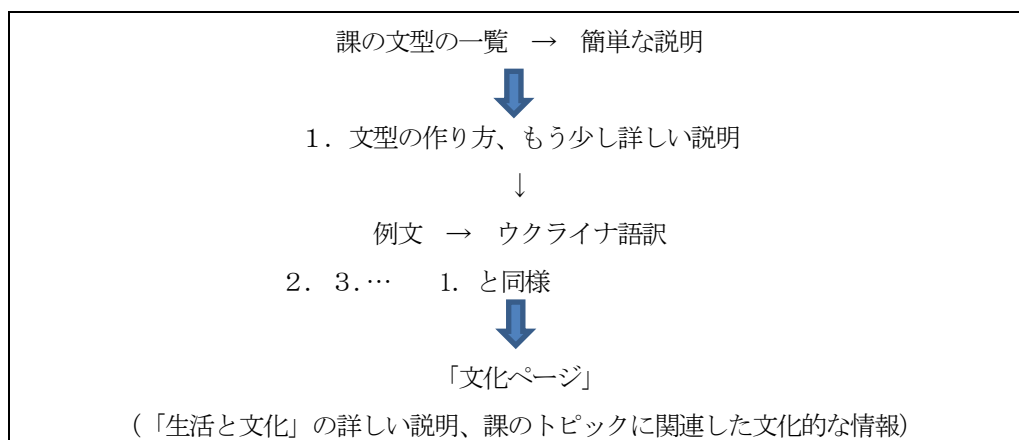
「文法解説書」を作った理由は次の通りである。

- ・「語彙リスト」と同じく、学生が貸し出し形式の教科書を返した後は、記録として残る資料がないこと
- ・教科書の中に簡単な英語の文型説明があるが、ウクライナには英語がよく分からない学習者もいるので、授業を休んだら、自分で文型を確認できない学習者が少なくないこと
- ・ウクライナの学習者は「文法中心」と「教師中心」の学習に慣れているため、教師が言ったこと、特に文法の説明をすべてメモに取る傾向が見られる。「かつどう」編の授業のときも、よく学生から、「文型を説明してほしい」という声があがるため、それを防ぐために「文法解説書」を作成

¹ 資料1 参照

- ・学習のプロセスをなるべく面白くするため、「文法解説書」の中に文化紹介を豊富に入れることで、学習者の日本文化に対する関心を高めること
- ・復習を楽にすること

「文法解説書」には最初はその課の文型の一覧があって、その文型について簡潔な説明がある。その後、一つ一つの文型の作り方、もう少し詳しい説明がある。ただし、教科書の中の文型の使い方に絞り、補足説明はしない。その代わりに、教科書に出てくるいくつかの例文のウクライナ語訳をつける。文法解説というよりも、例文訳集になる。最後に、「文化ページ」をつける。「生活と文化」ページがある課の場合、その内容を膨らませて作る。「生活と文化」ページがない課の場合、その課の内容・トピックに合わせて、独自に作る。「文法解説書」の構成をまとめると、以下のようになる。



「文法解説書」を作るときの留意点をまとめると、次のようになる。

- ・簡潔にまとめること
- ・文法の説明を入れすぎないこと
- ・例文のウクライナ語訳を十分に入れること
- ・日本文化のページを充実させること

「文法解説書」は、課の「かつどう」編、「りかい」編、両方終わった時点で学習者に配る。「文法解説書」を読んで、課に入るのではなく、課の勉強が終わった後、もう一度勉強したことを確認し、復習できるようにするためである。

2.3 実践の成果

上の二つの資料に関する学生の意見を調べるために、『まるごと 初級1』コースの受講生 43 人にアンケート調査をした。その調査の結果は次の通りである。

設問	回答	回答数
1. 語彙リストを使いますか。	はい	43人 (100%)
	いいえ	0人 (0%)
2. 語彙リストは必要だと思いますか。	非常に必要だと思う	43人 (100%)
	全く必要じゃないと思う	0人 (0%)
	別になくてもいいと思う	0人 (0%)
3. 文法解説書を使いますか。	はい	43人 (100%)
	いいえ	0人 (0%)
4. 文法解説は必要だと思いますか。	非常に必要だと思う	42人 (98%)
	全く必要じゃないと思う	0人 (0%)
	別になくてもいいと思う	1人 (2%)
5. 3.で「はい」と答えた人に、どんなときに使いますか。	よくあった学習者の回答 <ul style="list-style-type: none"> ・復習のため ・宿題をしている時 ・テストの前 ・授業を休んだとき ・授業の後、学んだことを頭の中に整理するため ・日本文化理解を深めるため 	
6. 日本語・日本文化のコラムを読んでいますか。	はい	43人 (100%)
	いいえ	0人 (0%)

文化ページに関しては、「文法解説の一番魅力的なページだ」、「違う日本が見えてきた、前よりも日本文化に興味を持つようになった」、「日本だけではなくて、ウクライナの文化もよく考えるようになった」などの肯定的なコメントがあった。

アンケートの結果をみると、学習者が「文法解説書」も「語彙リスト」も高く評価し、その必要性も感じていることが分かる。

2.4 これからの課題

ウクライナの場合、「文法解説書」と「語彙リスト」の使用によって、学習のプロセスが学習者にとっても、教師にとっても、快適になるといえるだろう。ただし、その使用によって、生じる問題も無視できない。それは、学習者は「文法解説書」と「語彙リスト」に頼りすぎる可能性が高くなるということである。それによって、自立・自律学習が成り立たなくなる恐れがある。それを防ぐために、教師が十分に学生に注意を配り、「文法解説書」と「語彙リスト」に頼り過ぎないように進める必要がある。

3. 教授マニュアル²

ウクライナセンターで、『まるごと』導入時には、JF 講座研修を受けた教師だけが『まるごと』コースを担当した。JF 講座研修を受けていない現地教師のためには、『まるごと』コースと平行して、「まるごとコース研修」を行った。月に一回、全部で5回の研修で、まず、JF 派遣の日本語教育専門家と JF 講座研修を受けた講師が、ウクライナセンターの JF 講座の特徴、『まるごと』の理念や構成などの講義をし、

² 資料2参照

『まるごと』を使った授業の見学をさせてから、現地教師に『まるごと』を使った模擬授業をさせた。

ただし、講義をして、教科書の勉強をさせても、『まるごと』のような教科書に慣れていないウクライナ人教師にとっては、その理念や教え方のポイントが非常に分かりにくいような気がした。教師の方から「かつどう」編をどうやって教えればいいのか、分からない」、「理念がよく理解できない」という声があがった。そして、模擬授業をさせたら、ウクライナでは「文法中心」の教え方が一般的なので、「りかい」編は特に問題がなかったが、「かつどう」編となると、教えるべきポイントがかなりはずれてしまい、余計な文法の説明が多くなったり、逆に音声が重視されていない授業になったりした。研修を行った側としては、説明や授業見学などはもっと必要だと感じたが、残念ながら、これ以上非常勤である講師を研修に参加させることができない状況だったため、教師の理解を深める違う方法を考え、「教授マニュアル」を作ることにした。内容としては授業の流れ、時間配分、教えるとき見逃してはいけないポイントを丁寧に集めてみた。さらに、ウクライナセンターには、日本滞在の経験が豊富ではない、または日本に行ったことがない教師もいるので、「生活と文化」ページを教えるのが難しいだろうと予想して、「教授マニュアル」にかなり詳しい文化の説明も入れた。

「教授マニュアル」を使って、授業をしている教師の意見を聞いたところ、次のようなコメントをもらった。

- ・マニュアルを読んで、求められている教え方が分かった
- ・『まるごと』の理念がよりよく理解できた
- ・準備が楽で良い
- ・自分の授業が教科書の理念からはずれない心配がない
- ・文化ページの指導が問題にならない
- ・だんだん慣れてきて毎回使わなくてもよくなったが、今も目を通す

「教授マニュアル」を使うことによって、教科書の理念が崩れることがない、授業の準備が教師にとって楽になるという成果が出る反面、これから考えるべき課題もある。「教授マニュアル」を使うのは強制的ではないにもかかわらず、完全にマニュアル通りにやらなければならないという教師もいるし、自分らしい教え方をやめて、マニュアルにこだわる教師もいるので、教師の自主性や創造力が束縛される恐れがあるからである。今後は、「教授マニュアル」のバランスの良い使い方を考えていかなければならない。

4. 終わりに

以上述べてきたことをまとめると、学習者のための「語彙リスト」、「文法解説書」、教師のための「教授マニュアル」を使うことによって、利点も、欠点も生じると言えるだろう。

学習者用の資料の利点としては、英語が分からない学習者への母語によるサポートと授業を休んだ学習者のサポートができ、予習と復習を楽で効果的にし、「文法中心」の外国語学習に慣れている学習者に満足感も与えられ、日本文化の説明も充実させられることがあげられる。欠点としては、学習者がサポ

ート資料に頼りすぎた場合、自律学習が成り立たなくなる恐れがあるので、教師が十分に学習者に注意を配り、サポート資料に頼り過ぎないように進めることが必要で、資料を配るタイミング、使う頻度に十分に工夫しなければならない。

「教授マニュアル」は、教科書の導入の段階で、まだ『まるごと』のコンセプト、構成、教え方に十分になれていない教師が使うとしたら、教科書の理念が崩れることなく、準備も楽になる反面、「教授マニュアル」を使い続けていくと、教師の独自性や自主性を束縛するという問題が現われる可能性がある。そして「教授マニュアル」に頼りすぎて、あまり深く考えずに授業をしていたら、最終的に『まるごと』のコンセプトが分からないまま終わってしまう恐れもあるので、教師の教育に時間をかけて、少しずつ「教授マニュアル」から離れて、自ら授業ができるようになる人材を育てるのに力を入れていかなければならないことも明らかな事実だと考えられる。

第12課 おいしそうですね

<ul style="list-style-type: none"> ・その おすし、<u>おいしそう</u>ですね。 ・それ、<u>べんりそうな ナイフ</u>ですね。 ・<u>あたたかくて</u>、おいしいです。 ／<u>かたかた</u>なくて、おいしいです。 ・<u>しんせんで</u>、おいしいです。 ／<u>にがて</u>じゃなくて、よかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外見から判断した推測を述べるときに使います。(い形容詞) ・同上(な形容詞) ・後ろに続く文の理由や原因を述べるときに使います。(い形容詞) ・同上(な形容詞)
---	--

1. その おすし、おいしそうですね。 *Ті суші виглядають смачно./ Схоже, ті суші смачні.*

い ПРИКМ(～い)	} そうです。
な ПРИКМ(～な)	

おいしい + そうです → おいしそうです
 いい + → よさそうです
 べんりな + そうです → べんりそうです

実際にはどうか分からないが、見た目から判断して何かを推測するときに「～そうです」という表現を使います。い形容詞は「い」とって、な形容詞は「な」とった形に接続します。「きれい(な)」や「あかい」など、見ただけですぐわかるものには使いません。

- ・あの 子どもたち、たのしそうですね。 *Тим дітям, схоже, весело.*
- ・この えいがは おもしろそうです。 *Цей фільм, схоже, цікавий.*
- ・この 花は きれいそうですね。(×)→この 花は きれいですね。(○)
~~*Ця квітка, схоже, красива.*~~ *Ця квітка красива.*

2. それ、べんりそうな ナイフですね。 *У вас зручний на вигляд ніж.*

い ПРИКМ(～い)	} そうな IM。
な ПРИКМ(～な)	

おいそうです な + おかし → おいそうな おかし
 ひまそうです な + 男の人 → ひまそうな 男の人

「～そうです」を「～そうな」にして、うしろに名詞をつなげると、「～そうな N」のように形容詞として使うことができます。

- ・おいそうな おすしですね。 *Смачні на вигляд суші.*
- ・おもしろそうな えいがですね。 *Схоже, цікавий фільм.*

3. あたたかくて、おいしいです。／ かたかたなくて、おいしいです。

Теплий/ не черствий, тому смачний.

しんせんで、おいしいです。／ にがてじゃなくて、よかったです。

Свіжий, тому смачний/ Добре, що не був несправним.

後ろに続く文の理由や原因を述べるときには、前の文の形容詞をて形にします。否定形は「～ない」を「～なくて」にします。

・この サラダ、ちょっと すっぱくて、おいしいですね。

Цей салат кислуватий, тому смачний

・この トマトは、しんせんで、おいしいです。

Ці помідори свіжі, тому смачні.

・こうえんは 人が あまり おおなく、しずかでした。*В парку було не дуже багато людей, тому було тихо.*

日本文化ページ

日本のお弁当

P100 にお弁当の写真が3つ載っています。日本には様々な種類のお弁当があり、とても人気があります。まずは写真のお弁当を紹介しましょう。

一つ目は「駅弁」。これは長距離電車や新幹線の中で食べる弁当のことですが、鉄道駅のホームでも列車内でも買うことができます。最初は、駅構内で販売される実用的な食事として始まったものですが、現在では地域の特産品を盛り込んだ郷土色あふれるお弁当として認識されています。地元でしか買えない駅弁は、その土地へ行かないと食べられないという特別感も加わって人気が高まり、デパートやスーパーなどで全国駅弁大会という駅弁のイベントを行うとすぐに売れ切れしてしまうほどです。

二つ目は「コンビニ弁当」。これはもちろんコンビニで売っている弁当のことで、教科書の写真は会社でお昼ご飯としてコンビニ弁当を食べている光景です。安価で、少しずついろいろな種類のおかずが入っています。以前は、単身者がお昼ご飯として、または夕食として食べるものというイメージが強かったのですが、最近はいろいろな種類のお弁当が売られており、コンビニ毎に独自のメニューのお弁当を売り出し、コンビニ同士の競争も激しくなっています。また、コンビニでお弁当を買ったお箸とおしぼりもつけてくれて、レジのところにある電子レンジで温めてくれます。

三つ目は「キャラ弁」。キャラはキャラクターのことです。キャラクターは漫画やアニメのキャラクターだったり、動物や自動車、風景だったりもします。子供を喜ばせたり、嫌いなものも食べるようにさせたりするために外観を子供向けに飾ったものです。キャラ弁を作るお母さんたちは大変だと思いますが、いろいろなアイデアをインターネットで検索することができます。

お弁当の中身や作り方によって、いろいろな種類のものがありますが、有名なものをいくつか挙げておきます。

「日の丸弁当」—白米の真ん中に梅干うめぼしを入れたもの、日本の国旗の「日の丸」に似ていることから。

「幕の内弁当」—白米といくつかのおかずをセットにしたもの。

「のり弁当」—ご飯にのりを敷き詰めた弁当。

「松花堂弁当」—略式しょうかどうの懐石料理りやくしきで、十字に仕切った弁当箱かいせきに様々な料理を入れたもの。高級な弁当で、冠婚葬祭時に仕出し料理としてもよく使われる。

また、日本中にお弁当専門店のチェーンもあり、ファストフードのように好きなお弁当のメニューを頼んでその場で作ってもらい、テイクアウトするということもできます。

資料2 『まるごと 初級1』 「かつどう」 編12課 教授マニュアル

目標 (Can-do) 29. よく知らない食べ物について話します。 30. 味について簡単にコメントします。 31. 友達に食べ物をすすめます/すすめにこたえます。		授業時間：90分	
【場面設定】 ピクニック当日、友達を持ち寄った飲食物について感想を言ったり、自分の持ってきたものを勧めたりする場面。			
時間	教科書	活動内容	教材
3分		【復習】 11課の復習。語彙と表現など。	
4分		【ウォームアップ】 ①どんな味の食べ物が好きか、好きじゃないか（甘いものが好き/辛いものは好きじゃない）、味覚にはどんなものがあるかについて軽く話す。 ②本日のCan-do提示。	
15分	P94-95	【①食べものと あじ——食べ物と味の語彙】 ①P94の写真をしながら、食べ物の名前と味の語彙（あまい・からい）を説明。ウクライナではそれぞれの味の、どんな食べ物があるか、軽く話す。 ②CD2-19を聞く。もう一度CDを止めながら聞き、意味を確認する。最後にCD続いてリピート。 ③P95「何が入っていますか」の意味を推測してから意味の説明。写真を見ながらCD2-20を聞く。もう一度CDを止めながら聞き、意味を確認する。最後にCD続いてリピート。どんなサンドイッチが好きか、軽く話す。	
25分	P96-97	【②おいしそうですね！——Can-do29. よく知らない食べ物について話す。Can-do30. 味について簡単にコメントする。】 「さあ、皆でお弁当を食べましょう！」という場面。友達を持ちきたものについて関心を示す場面。 ①P96-97の8枚の食べ物の写真とその名称を確認する。どこの国の食べ物か、どんな食べ物かについては説明しない。 ②リスニングタスク内容と解答方法を説明する。選択肢がP97にあるので注意が必要。CD2-21~24を2回聞く。CDを途中で止め意味を確認しながら解答。もう一度CDを聞く。 ③発言「そのキンパッは <u>おいしそうです</u> 」は、どのような状況で発せられたか推測してみる（→まだキンパッを食べる前、友達を取り出したキンパッをみての発言）。一通りSから発言が出てから「推測」の意味の説明と活用の確認。例文部分の答え合わせ後、T→S リピート。時間があればT「甘い」→S「甘そう」で軽くドリル練習をしてもよい。 ④会話文の提示。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A: おいしそうですね! それ、なんですか。 B: (日本の) おすし です。 A: おすし ですか。 (ここは3行分ぐらいスペースを空けておく) B: どうぞ。食べてみて ください。 A: じゃあ、1ついただきます </div> T→Sで数回リピート。次に、オプションの会話を↑のスペースに追加して貼る。	会話文 を書い た紙

		<p>B: かんこくの キンパツと にています。</p> <p>A: あじは ちょっと ちがいますよ。 ／あじも にていますよ。</p> <p>T→S でオプションの部分だけリピート、さらに全体をリピート。ウクライナの食べ物で外国のものと似ているものがあるか全体で考える（例：バレニキと日本のぎょうざ）。 部分を入れ替えながらペアで練習。</p>	<p>会話文 を書いた紙</p>
30分	P98-99	<p>【③もう すこし どうですか——Can-do31. 友達に食べ物を勧める／勧めにこたえる。】</p> <p>①ウクライナでは女性がアルコール飲料を勧めるか、飲食物を勧められて断るときにどうか、おいしいと思わなくても褒めるか、などについて軽く話す。</p> <p>②リスニングタスク内容と解答方法の説明。CD 2-25～28 を 2 回聞いたあと、CD を止めながら答え合わせと意味の確認。</p> <p>③「このケーキはあまくておいしいです」の意味を確認。おいしい理由を[い形容詞+形]を使って表現していることに気づかせる（5課で「この店は安くて便利です」既習）。活用を確認。例文部分の答え合わせ後、T→S リピート。</p> <p>④会話文の提示。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(P99 の会話文)</div> <p>「もう少し」はつまめないもの、「もう一つ」はつまめるもの、「いっぱい」はワインについて使う。また「いっぱい」のアクセント「おなかがいっぱい（低高高）」と「もういっぱい（高低低） どうですか」の違いに注意する。</p> <p>T→S で数回リピート。クラスを半分を A、残りを B にして練習。交替しながら何度か練習。 部分を入れ替えながらペア練習。</p> <p>リスニングの食べ物・飲み物を勧める絵カード 4 枚を T がランダムに選んでペアに当てて、そのイラストにあった会話を発表してもらう。必ずしも教科書と同じパターンでなくてもよい。「友だちに食べ物（飲み物）勧める→勧めを受けて感想を言う」という会話 9 が最低限できればよい。</p>	<p>会話文 を書いた紙</p> <p>絵カード</p>
10分	P100	<p>【生活と文化——お弁当】</p> <p>日本では主要各駅にその土地の農産物や海産物を使った独自の駅弁があり、旅先で駅弁を食べることは鉄道で旅行する際の楽しみの一つである。逆にコンビニ弁当は基本的に全国どこへ行っても、同じチェーン店であれば同じ味の弁当が手ごろな価格で買える。また、日本の幼稚園は昼食が給食ではなく弁当持参のところも多いため、子どもに少しでも楽しんで食べてもらいたい、嫌いなものも食べてほしいと母親が工夫してかわいい弁当（キャラ弁）を作るようになった。</p> <p>一方、ウクライナでの弁当事情はどうか、全員で話し合ってみる。 (参考サイト)</p> <p>駅弁の写真 http://travel.biglobe.ne.jp/ekiben/pic/index.html キャラ弁写真 http://charapi.com/</p>	
3分		<p>【本日の Can-do チェック】</p> <p>本日の Can-do を再確認して授業の振り返りとする。</p>	